

令和6年7月5日

修立小学校にて防災サークルによるワークショップを実施！

～「防災避難ボトル」「新聞紙スリッパ」を4年生36名と作ります～

令和6年7月9日（火）に鳥取大学の防災サークル「鳥大防災 Lab.（顧問：工学部 黒岩教授）」が鳥取市立修立小学校を訪問し、4年生36名に対して、同サークルが開発した「防災避難ボトル作り」と「新聞紙スリッパ作り」のワークショップを行います。

同小学校では総合的な学習の時間の活動として、生徒たちに防災知識や被災時の備えについて体験しながら学んでもらうことを目的としています。特に本格的な出水期を前に、避難の大切さ、備えておくことの大切さを伝えます。

今回も、防災キャンプなど子どもたちへの防災学習に取り組む東心会（東中校区心豊かな子どもを育てる会）とも連携し、サポートいただきながら授業を進めます。

当日はサークルの学生がファシリテーターとなって以下の2つのワークショップを実施します。どちらも、防災に役立つ知識や技術を楽しみながら学べる内容となっています。

防災避難ボトル作り	新聞紙スリッパ作り
ライトや非常食など、災害時に役立つ防災グッズを詰めた防災ボトルを作ります。	新聞紙を使って、災害時の室内履きとしてすぐに使えるスリッパを作ります。
	

日時 令和6年7月9日（火） 10:35～11:20

会場 鳥取市立修立小学校（鳥取市立川町5丁目339番地）多目的ホール

参加者 同小学校4年生36名、東心会スタッフ3名、学校教員
鳥大防災 Lab. メンバー 学生2名、教職員2名

報道機関の皆様におかれましては、学生達の活動をぜひとも取材いただきたく、よろしくお願いたします。

【本件に関する問い合わせ先】

鳥取大学地域価値創造研究教育機構 森田

電話 0857-31-6777

Mail s-morita@tottori-u.ac.jp